

乙川小学校 校長だより

# おもいやい なかい つか か わ んせいの をひろげよう

～思いやい つながい 感性の 輪を広げよう～

令和 5年 7月 11日

半田市立 乙川小学校

発行責任者 木下稔章

修学旅行

乙川の伝統

〈上の写真は6年生・ひまわり昇降口にある、令和4年度卒業生による写真モザイクアート作品〉

## 「個別最適な学び」について考えていきます。

これからの学校教育で取り組むべきものの一つに「個別最適な学び」というものがあります。「個別最適な学び」とは、一人一人の児童に必要な支援を重点的に指導することや、一人一人の児童の特性や学習進度などに応じて、指導方法や学習教材および時間などについて柔軟な提供を行うことである、とされています。

児童一人一人に合った個別の指導が必要なことは、以前からもずっと言われてきたことです。ただ、これまでの個別の指導の考え方は、学習の方法や内容は全員で共有しながら、その理解度に合わせて必要な支援や指導を個々に行うことを基本にしてきたように思います。これからは、それに加えて、学習に何をを使うか（教科書、参考書、タブレットのアプリなど）ということから、どのように学習に時間をかけるか（内容を理解するための時間、問題を解く時間、他の人と話し合う時間など）ということについても、自分がより理解を深められるように柔軟に決められるようにしよう、ということです。

ただし、注意しなければいけないのは、それぞれが自分勝手にバラバラに学習するようになってしまうと、学習効果が上がらないということです。これまでの「一斉指導」のよさを取り入れながらも、みんなが同じ目標をもって、そこに到達する方法をそれぞれがよりよい方法を使って学んでいくということが必要になってきます。



乙川小学校では、その最初の段階として、算数科におけるデジタル教材の活用を考えています。これまで「e-ライブラリ」というアプリを使って、計算問題などに取り組んできました。今年度は、4年生から6年生までの学年で、新たに「Qubena (キュービナ)」というアプリを使って、ドリル学習を行う予定です。各自のペースで学習を進めながら、一人一人の課題について教師がよりよく支援・指導を行っていく方法について、考えていきたいと思ひます。



タブレットを活用した  
個別最適学習の取組

## 子どもたちのすてきな姿、紹介します♪

子どもたちの授業に取り組む際の姿勢や態度については、2学期以降もよりよい支援の仕方について引き続き考えていきたいと思ひます。少しずつですが、意識は変わってきていると感じます。

